

大阪府景気観測調査結果

平成24年4～6月期

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪府と協力して景気観測調査を実施しております。平成24年4～6月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト

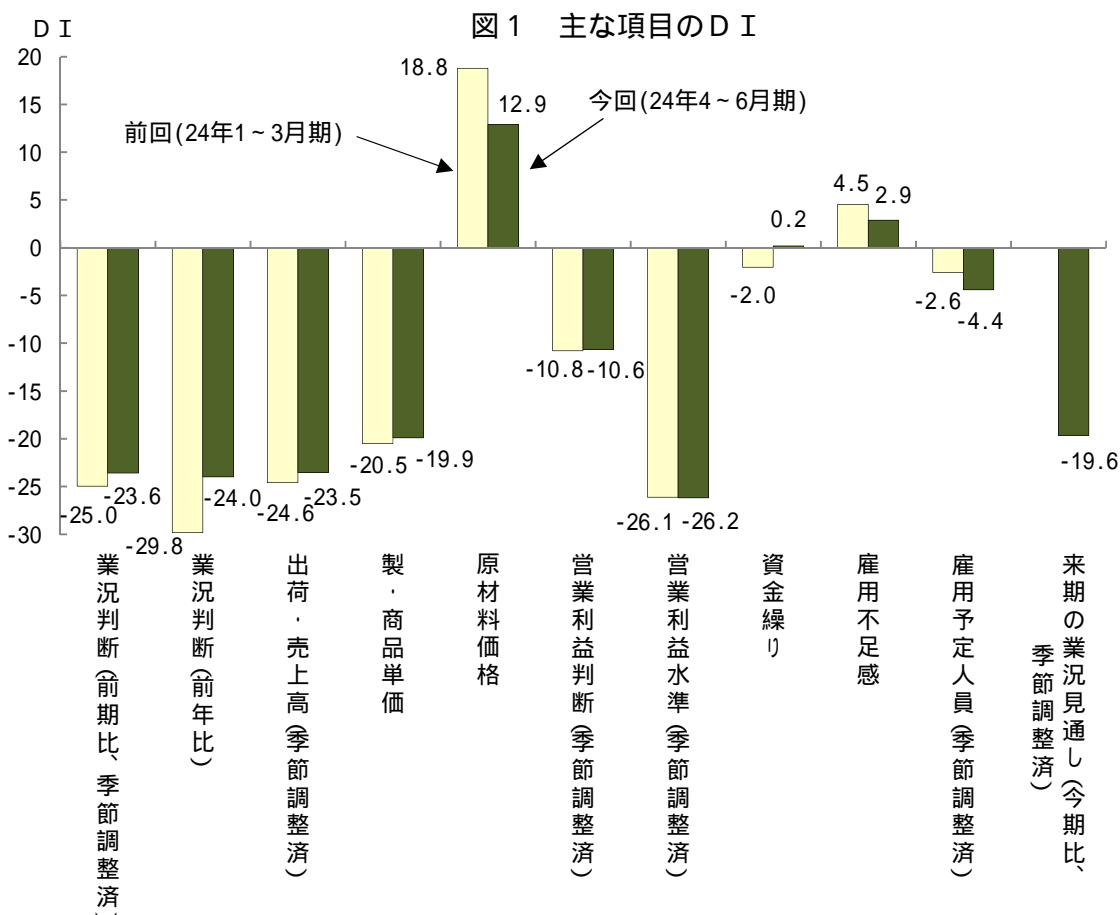
<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaikyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

景気は一部に弱い動きもみられるが、引き続き持ち直している

業況判断DIは、非製造業及び大企業で改善し、来期の業況判断DIも、製造業や中小企業を中心に改善が見込まれており、持ち直し基調が続く見通しである。

個々の指標では、大企業において出荷・売上高が急増し、営業利益判断・水準も改善するなど、大企業を中心に持ち直しの動きがみられる。また、前期に比べて、雇用不足感及び雇用予定人員は弱含みで推移したものの、資金繰りDIが16期ぶりにプラスに転じた。なお、原材料価格は下落した。

以上の結果から、景気は製造業や中小企業の一部に弱い動きがみられるものの、持ち直し傾向が続いている。



調査結果に関するお問い合わせは 06-6210-9937
 商工労働部(大阪産業経済リサーチセンター)経済リサーチグループまで